

## 【精神保健福祉士とは？】



精神保健福祉士（Psychiatric Social Worker）は社会福祉士、介護福祉士と並ぶ福祉の国家資格（通称：三福祉士）のひとつです。

精神保健福祉士は、精神障害者の保健及び福祉分野に特化したスペシフィックソーシャルワーカーです。（社会福祉士は、医療、高齢者、児童(母子)、身体障害者、精神障害者、行政・司法の福祉全分野を担うジェネリックソーシャルワーカーです。）

精神保健福祉士は、1997年に誕生した精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です。

精神保健福祉士は、精神科ソーシャルワーカー（PSW）という名称で1950年代より精神科医療機関を中心に医療チームの一員として導入された専門職で、社会福祉学を基盤として精神保健の知識をあわせもった精神保健福祉領域における社会福祉専門職で、精神障害者の社会復帰についての支援を行うソーシャルワーカーの国家資格です。社会福祉士同様、精神保健福祉士も名称独占の国家資格です。

職務内容は、精神障害者の社会復帰のための相談に応じたり、退院後の住まいや再就労の場を探す手伝いをするなどです。

業務は、医師その他の医療関係者との連携を保つという点で、社会福祉士も同じですが、精神保健福祉士は、利用者に主治医がいる場合にはその指導を受けるものとされています。

業務対象は、精神病院、精神科デイケア施設に入・通院中の精神障害者、精神障害者復帰施設に入・通所している精神障害者、地域において生活している精神障害者です。

精神保健福祉士の活躍する職場としては、精神病院その他の医療機関、精神障害者社会復帰施設、保健所、精神保健福祉センター、精神障害者授産施設などがあります。

「参考」

精神保健福祉士登録者数（2009年10月30日現在）

国家試験合格者：44,384人　登録者数：43,419人　登録率：97.8%

〈精神保健福祉士試験科目〉

精神医学、精神保健学、精神科リハビリテーション学、精神保健福祉論、精神保健福祉援助技術、人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会理論と社会システム、現代社会と福祉、地域福祉の理論と方法、福祉行財政と福祉計画、社会保障、低所得者に対する支援と生活保護制度、保健医療サービス、権利擁護と成年後見制度